



平成24年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 協栄産業株式会社

コード番号 6973 URL <http://www.kyoei.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 水谷 廣司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員

(氏名) 板垣 政昭

TEL 03-3481-2111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	45,911	6.0	193	—	295	—	358	—
23年3月期第3四半期	48,826	3.7	188	—	84	—	10	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 692百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 243百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	11.75	—
23年3月期第3四半期	0.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	36,817	12,016	32.6
23年3月期	34,475	12,831	37.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 12,016百万円 23年3月期 12,831百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
24年3月期	—	2.00	—		
24年3月期(予想)				2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,000	5.1	280	64.5	120	80.9	10	92.4	0.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	31,935,458 株	23年3月期	31,935,458 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

24年3月期3Q	1,420,501 株	23年3月期	1,419,335 株
----------	-------------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	30,515,638 株	23年3月期3Q	30,520,074 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 3 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 3 四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災以降の停滞からの回復途上で、タイ洪水の影響によるサプライチェーンの再度の寸断、欧州諸国の財政危機にもとづく歴史的な円高による輸出競争力の低下など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢の下で、当社及び当社の子会社が持つそれぞれの機能の融合と、グループ間及び部門間相互の連携により、積極的な営業活動の推進を図りましたが、エレクトロニクス業界を取巻く環境の悪化やIT投資の先送り等の要因により厳しい状況で推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は459億1千1百万円、前年同期に比べて6.0%の減収、営業損失は1億9千3百万円（前年同期営業利益1億8千8百万円）、経常損失は2億9千5百万円（前年同期経常利益8千4百万円）、四半期純損失は3億5千8百万円（前年同期四半期純損失1千万円）という成績になりました。

セグメントの概況は次のとおりです。

(商事部門)

半導体デバイス事業

半導体分野では、パワーデバイスは産業機関連向けが第3四半期も軟化傾向で推移し、エアコン関連向けも中国、欧州で苦戦したことにより低調となりました。マイコン、ASICは自動車関連向けで震災による供給不足は解消いたしましたが、タイ洪水の影響により、予定していた回復まで至りませんでした。また、デジタルTV、PC関連向けは低調に推移いたしました。

電子デバイス分野では、産業用向け表示デバイス、イメージセンサ等が引き続き好調に推移し、希土類磁石も、スマートフォン、車載関連向けを中心に堅調に推移いたしました。また、その他電子部品も堅調に推移いたしました。

電子材料事業

電子材料事業は、コネクタ関連は薄型テレビ、パソコン、携帯電話向けが低調に推移いたしました。また、半導体用リードフレーム関連も低調に推移いたしました。利益面では銅地金の価格低下の影響もあり厳しい状況で推移いたしました。

FAシステム事業

FAシステム事業は、産業メカトロニクス分野では、放電加工機、レーザ加工機などの設備機械は好調に推移いたしましたが、NC装置関連は中国向けを中心に低調に推移いたしました。

配電制御機器、シーケンサ、サーボ・システムなどのFA機器分野では一部でタイ洪水の復興需要がありましたが、その他の装置メーカー向けはやや低調に推移いたしました。

その他

北海道と西日本地区を拠点とする協栄マリンテクノロジー株式会社が行う救命いかだの整備サービス事業は堅調に推移いたしました。

この結果、商事部門の売上高は370億4千7百万円（前年同期比8.0%減）、営業利益は7億4千2百万円（前年同期比16.0%減）となりました。

（ＩＴ部門）

ビジネスソリューション事業

自主事業主体のソリューション関係は、エンドユーザー向けのシステム開発、建設業関連システムは第３四半期はやや伸び悩みましたが、総じて堅調に推移いたしました。また、サービス提供型ビジネスの運輸業向けシステム、eラーニング配信サービス等は順調に推移いたしました。

S I e rからの受注が主体のビジネスシステム関係は、金融系業務関連では第２四半期の障害対応終了後の体制立て直しを進めているため低調に推移いたしました。また、電力系業務関連は原発事故の影響により低調に推移いたしました。

エンベデッドシステム事業

エンベデッドシステム系は、カーナビ関連システムが好調となりましたが、専用ボードシステムがやや低調となったため、全体としては堅調に推移いたしました。また、自社開発の通信制御装置は低調に推移いたしました。

監視制御システム系では、公共業務システムは投資の先送りの影響で低調に推移いたしました。FAシステムもやや低調に推移いたしました。

IC設計事業

IC設計関係は、メーカーの事業の選択、開発コストの削減、内製化が一段と進むなか、新規顧客の開拓と新規分野への進出を図ってまいりましたが、受注状況は非常に厳しく低調に推移いたしました。

この結果、ＩＴ部門の売上高は35億２千４百万円（前年同期比17.0%減）、営業損失は６千７百万円（前年同期営業利益３億６千８百万円）となりました。

（製造部門）

プリント配線板事業

プリント配線板事業は、相模原工場では、アミューズメント関連が引き続き好調に推移し、車載向けメタルコア基板も第３四半期に順調に拡大いたしました。モジュール基板もAV・通信関連を中心に堅調に推移したため、受注面では全般に好調に推移いたしました。

また、福島協栄株式会社ではアミューズメント、車載関連を中心に受注が好調に推移いたしました。

両工場で安定した受注を確保したことにより、損益は第３四半期も改善傾向で推移いたしました。

この結果、製造部門の売上高は53億７千３百万円（前年同期比23.3%増）、営業利益は２千２百万円（前年同期営業損失１億９千１百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて23億４千１百万円増加し、368億１千７百万円となりました。

- ・流動資産は、現金及び預金17億１千３百万円の増加、商品及び製品10億３百万円の増加等により、26億８千７百万円増加し、309億４千９百万円となりました。
- ・固定資産は、投資有価証券４億７千９百万円の減少等により、３億４千５百万円減少し、58億６千７百万円となりました。
- ・流動負債は、支払手形及び買掛金29億６千万円の増加、1年内返済予定の長期借入金23億円の増加等により、49億９千２百万円増加し、211億５千６百万円となりました。
- ・固定負債は、長期借入金17億１千５百万円の減少等により、18億３千５百万円減少し、36億４千３百万円となりました。

この結果、純資産は８億１千５百万円減少し、120億１千６百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の37.2%から4.6ポイント減少し、32.6%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成23年5月11日公表の連結及び個別の業績予想を修正いたします。

詳細につきましては本日（平成24年１月30日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,336,400	6,050,062
受取手形及び売掛金	16,533,357	16,547,795
電子記録債権	-	82,081
商品及び製品	5,697,197	6,700,356
仕掛品	645,027	796,847
原材料及び貯蔵品	168,320	206,946
繰延税金資産	570,310	441,004
その他	325,005	138,633
貸倒引当金	13,054	13,964
流動資産合計	28,262,564	30,949,763
固定資産		
有形固定資産	2,796,855	2,623,536
無形固定資産	209,652	251,963
投資その他の資産		
投資有価証券	2,219,527	1,739,958
繰延税金資産	17,677	292,579
その他	1,091,026	1,072,242
貸倒引当金	122,075	112,901
投資その他の資産合計	3,206,156	2,991,879
固定資産合計	6,212,664	5,867,379
資産合計	34,475,228	36,817,142
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,400,369	13,361,294
短期借入金	2,878,193	2,942,250
1年内返済予定の長期借入金	1,120,000	3,420,000
未払法人税等	102,903	42,447
賞与引当金	296,974	129,245
工事損失引当金	-	6,042
災害損失引当金	77,000	-
その他	1,288,935	1,255,615
流動負債合計	16,164,376	21,156,895
固定負債		
長期借入金	4,020,000	2,305,000
繰延税金負債	18,366	320
退職給付引当金	757,846	715,893
役員退職慰労引当金	221,772	200,454
その他	461,474	422,299
固定負債合計	5,479,459	3,643,966
負債合計	21,643,835	24,800,862

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,161,819	3,161,819
資本剰余金	3,120,549	3,120,470
利益剰余金	6,911,854	6,431,121
自己株式	416,313	416,395
株主資本合計	12,777,910	12,297,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	427,125	155,875
為替換算調整勘定	373,642	436,609
その他の包括利益累計額合計	53,482	280,734
純資産合計	12,831,393	12,016,280
負債純資産合計	34,475,228	36,817,142

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
売上高	48,826,522	45,911,213
売上原価	43,953,906	41,475,208
売上総利益	4,872,616	4,436,004
販売費及び一般管理費	4,683,719	4,629,708
営業利益又は営業損失 ()	188,897	193,704
営業外収益		
受取利息	2,253	1,213
受取配当金	39,952	42,677
その他	46,782	55,719
営業外収益合計	88,989	99,609
営業外費用		
支払利息	121,087	126,431
為替差損	23,372	17,105
債権売却損	21,195	25,333
その他	27,621	32,109
営業外費用合計	193,277	200,979
経常利益又は経常損失 ()	84,609	295,074
特別利益		
固定資産売却益	1,707	1,089
貸倒引当金戻入額	1,233	-
災害損失引当金戻入額	-	29,480
特別利益合計	2,940	30,570
特別損失		
固定資産除却損	3,250	2,008
投資有価証券評価損	13,076	8,905
関係会社株式評価損	25,999	-
特別損失合計	42,326	10,913
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 ()	45,223	275,417
法人税、住民税及び事業税	47,034	40,036
法人税等調整額	8,598	43,216
法人税等合計	55,632	83,252
少数株主損益調整前四半期純損失 ()	10,409	358,670
四半期純損失 ()	10,409	358,670

(四半期連結包括利益計算書)
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 ()	10,409	358,670
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	97,692	271,250
為替換算調整勘定	135,170	62,967
その他の包括利益合計	232,862	334,217
四半期包括利益	243,271	692,887
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	243,271	692,887

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

〔セグメント情報〕

前第 3 四半期連結累計期間（自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日）

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			
	商事部門	I T 部門	製造部門	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	40,250,518	4,225,507	4,350,496	48,826,522
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	7,836	20,994	8,634	37,464
計	40,258,354	4,246,501	4,359,130	48,863,987
セグメント利益又は損失（ ）	883,828	368,474	191,597	1,060,705

2．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,060,705
全社費用（注）	871,808
四半期連結損益計算書の営業利益	188,897

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			
	商事部門	I T 部門	製造部門	合計
売上高				
（1）外部顧客への売上高	37,041,107	3,499,975	5,370,130	45,911,213
（2）セグメント間の内部売上高又は振替高	6,267	24,493	3,455	34,217
計	37,047,374	3,524,469	5,373,586	45,945,430
セグメント利益又は損失（ ）	742,646	67,226	22,968	698,389

2．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	698,389
全社費用（注）	892,093
四半期連結損益計算書の営業損失（ ）	193,704

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

- （5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。